

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391300031
事業所名	グループホーム憩

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	天候が良ければ毎日散歩に出かけ、積極的に地域の方と挨拶をしている。顔見知りになった近所の方からは花や農作物を頂くこともある。歌の発表会に近所の方を招待した時は、入居者も朝から化粧をしてウキウキした様子で本番を迎えた。地域住民であるチームリーダーを介してホームに見学者が訪問したり、地域浸透への手ごたえを感じている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	協力医療機関の職員、いきいき支援センター職員、管理者、家族がメンバーとなっている。地域の方にも参加を呼びかけている。会議ではホームの近況報告を主にしており、機能訓練が必要な入居者のケアについて話し合ったこともある。メンバーの都合が合わず、数カ月にわたり開催が滞っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区役所には月に1度は出かけている。郵送で済む書類でも直接届けることで行政とのパイプづくりに力を入れている。法人の社会貢献策として進めている青年会議所での地域づくりのためのセミナーに積極的に参画している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	ホーム便りは発行していないが、年5~6回、個々の入居者の近況、行事での笑顔の写真を添付し、手書きの手紙を家族に送っており、家族の安心に繋がっている。医師の提案や家族の要望により、退院後の筋硬直防止のため訪問マッサージを介護計画に取り入れ、利用している入居者いる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	×			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。